

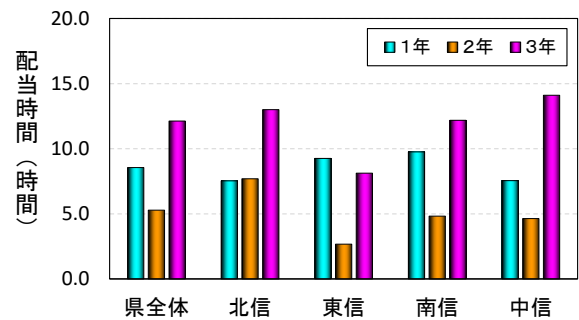
1. 本研究の目的と研究方法

本研究では、全日制普通科の高校 55 校の指導計画をもとに、学習指導要領に示された活動内容の分類で内容を整理し、各活動の実施学年や配当時間等を調べ、集計を行い、取組みの概要をまとめることで、各校の今後の「総合的な探究の時間」の計画・立案の参考となる情報提供を目的とする。

2. 結果および考察

(1) 「総合的な探究の時間」における進路学習の状況

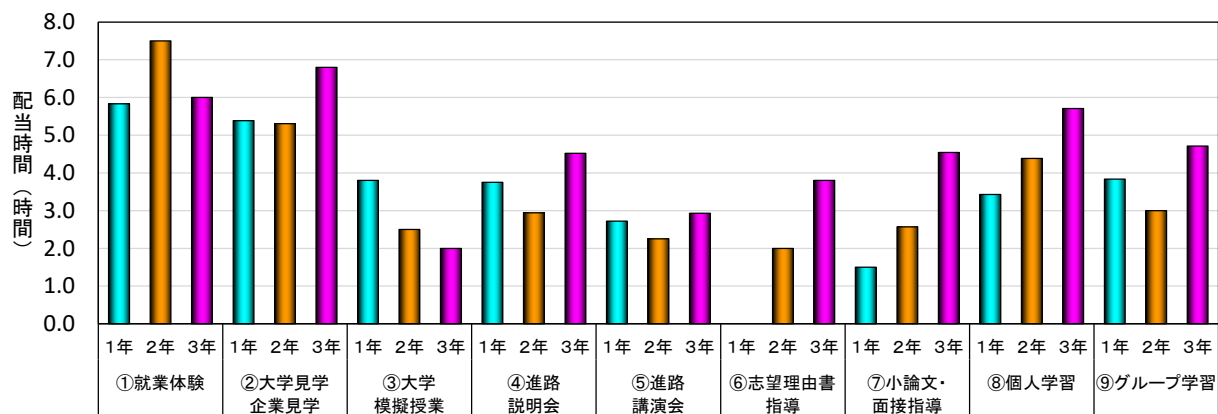
「総合的な探究の時間」において、各学年 1 単位 (35 時間) のうち進路学習に配当している時間の平均値は、**図 1** のとおりである。県内 4 地区で若干の差異はあるものの、1 年次と 3 年次に進路学習を多く配当している傾向がうかがえる。これは、3 年次に卒業後の進路実現に向けた取組みに時間をかけているとともに、キャリア教育の一環として、高校生活 3 年間をとおして卒業後の進路を考えていくために、早い段階からの進路への意識付けを重視して、1 年次に多く時間をかけていることが予想される。



【図1】 総合的な探究の時間を進路学習に配当している時間(平均値)

(2) 「総合的な探究の時間」での進路学習の内容

図 2 は「総合的な探究の時間」での進路学習の内容の内訳を、学年ごとに示したものである。



【図2】 「総合的な探究の時間」での進路学習の内容内訳

この図からは、いくつかの特徴がみられる。例えば、1 年次には大学模擬授業や進路説明会など、卒業後の進路を見据えて、進路研究の最初の一步になるような取組みが多く、2 年次～3 年次には就業 体験や大学・企業見学などの具体的な進路先の研究、3 年次には志望理由書についての指導や小論文・面接指導など、具体的な進路実現のための取組みに時間が使われていることがうかがえる。

(3) 学校の特徴による取組みの内容

次ページの**図 3**～**図 5** は、学校の特徴による進路学習の内容内訳である。図中の①～⑨の項目は、**図 2** で示したものと同一である。(次ページ右上に再掲する。)

卒業後の進路が就職主体の学校では、**図3**に示されるように、3か年を通して進路学習に多くの時間を当てていることがうかがえる。

活動内容の特徴としては、就職ガイダンスや職業研究の位置づけで④進路説明会に多くの時間を当てていることがわかる。①～⑨の各項目の実施における相関性（活動内容がセットで行われている項目）では、①就業体験と⑥志望理由書指導、④進路説明会と⑦小論文・面接指導をセットで実施している傾向があった。この傾向は、職業のことを知り、自分の目指す職業への就職を実現するために必要となる指導が設けられていると考えられる。

進学を主体とした学校では、**図4**に示されるように、1～2年次に学校独自の探究活動を行っているところが多く、全体的に進路学習に時間を配当していない傾向がある。そのような中でも進路実現のために、①大学見学と⑤進路講演会をセットで行い、個々の希望進路に向けて⑧個人学習として取り組んでいる傾向が見られた。

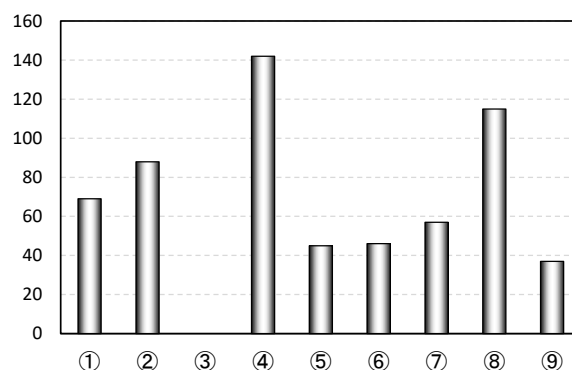
就職と進学のどちらも多くある学校では、**図5**に示されるように、就職主体の学校や進学主体の学校に比べ、特徴的な取り組みはあまり見られず、時間的にも、内容的にも就職主体の学校と進学主体の学校の間のような時間配当の傾向が見られた。就職・進学の双方を視野に入れた進路指導では、卒業後の進路を考える上で多様な情報に生徒が触れる機会が必要なため、②大学・企業見学や⑤進路講演会が比較的多く実施されている傾向がうかがえる。ただし、前出の2タイプの学校とは異なり、具体的な活動がセットで行われている傾向はあまりなく、各学校のニーズに基づいた多様な取り組みが行われていると考えられる。

4. まとめ

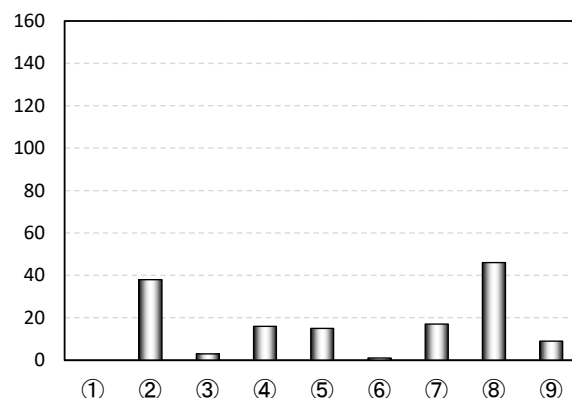
高校生は、小・中学生に比べ、社会人になるまでの時間が短く、高校生活3年間の探究的な学習活動を通して得た経験が、その後の人生に影響することが多い。今回の調査は、学校の教育ニーズによる違いはあるものの、そのことをふまえた学習計画になっていることが読み取れるものであった。

以上の結果・考察が、各校でより良い活動を模索するための議論の一助となれば幸いである。

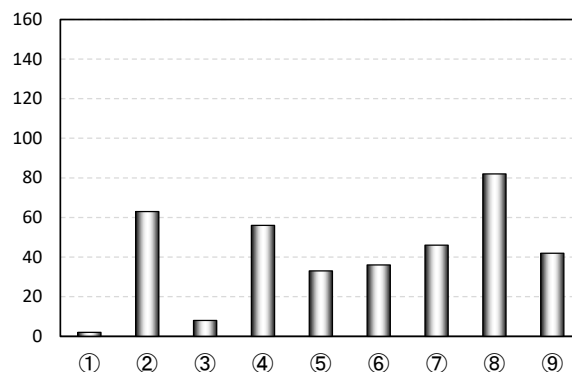
- | | |
|------------|-----------|
| ①就業体験 | ⑥志望理由書指導 |
| ②大学見学・企業見学 | ⑦小論文・面接指導 |
| ③大学模擬授業 | ⑧個人学習 |
| ④進路説明会 | ⑨グループ学習 |
| ⑤進路講演会 | |



【図3】 進路学習における内容内訳(就職主体の学校)



【図4】 進路学習における内容内訳(進学主体の学校)



【図5】 進路学習における内容内訳
(就職と進学のどちらも多くある学校)